

当医院のインプラント治療について

インプラント治療を検討されている患者様へ始めにお読み下さい

「インプラントは選択肢の一つ」

不幸にも深い虫歯や歯周病、または歯が割れてしまった場合は歯を抜かざるを得ません。

歯を失ったまま放置すると歯が動き、かみ合わせにズレが生じ、他の健康な歯に障害を与えてしまう事がございます。

人の咬む力には個人差はありますが、20キロから50キロ程度と言われています。歯の本数が少なくなればなるほど1本の歯にかかる負担は大きくなりますので、対処が必要となります。

ブリッジを入れたくても入れられない方、ブリッジを入れるために健康で問題のない歯を削らなければならぬ方、入れ歯が気持ち悪く入れられない方、入れ歯ではしっかりと噛めない方がいらっしゃいます。上記のように他の選択をしない方が良いと考えられる場合、インプラント治療を選択することが最善の治療となります。

ただし、

- ①骨の状態(量と質)によりインプラント治療を受けられる方と受けられない方がいます。
- ②インプラント治療を受けられたとしてもご自身の天然歯以上に入念なお手入れを行わなければ、長持ちさせることは出来ません。
- ③インプラントは虫歯にはなりませんが、手入れを怠ると天然歯同様インプラント周囲炎という歯周病を起こす事があります。
- ④歯肉の加齢変化により、歯肉退縮を起こしインプラント(根の部分)が口腔内に出てきてしまい、それを覆うために上部構造(歯の部分)を将来的に変えなければならない場合もあります。

「インプラントはしっかりと噛める」

インプラントの最大の利点は、歯の無い場所でも骨があれば入れる事が出来て骨とインプラントが一体化することでしっかりと噛めることです。しっかりと噛むことは健康の維持に大きく影響しますお勧め出来ます。

当医院のインプラント治療について

インプラント治療には外科的な処置(手術)が必要です。

当然の事ながら、患者様の安全が第一であり、確実に処置を行うことが最優先になります。

インプラント治療は経験や勘で行う治療ではありません

大学病院または同程度の設備をもつ施設で骨及び血管の状況が把握できる三次元 3DCT レントゲンの撮影をし、そのレントゲンの情報を元にインプラント治療用に分析・解析を専用のコンピューターソフト(SIMPLANT)で行います。

その後、診断及び手術の計画を立案します。骨の量と質、神経及び血管の位置の確認を行いインプラントを埋め込む最適の深さと方向を決定します。

治療計画及び方針が決まりましたら、必ず院長の酒井より詳しい分析結果のご報告及び治療方針のご説明を致します。

分析結果より立案された治療計画にご納得いただけた場合、手術の日程を決定致します。

*この時点で分析結果により治療が出来ない場合がございます

インプラント治療一本にかかる費用

①CT撮影 (大学病院等で￥20000円程度)

②臼歯部(骨造成無)

・分析料 ￥50.000

・手術・管理料 ￥150.000

・インプラント材料費 ￥100.000

・ジルコニア冠(上部構造) ￥100.000

合計￥400.000+税

前歯部(骨造成無)

・分析料 ￥50.000

・手術・管理料 ￥150.000

・インプラント材料費 ￥100.000

・ジルコニアセラミック冠(上部構造) ￥140.000

合計￥440.000+税

必要に応じ、追加費用として(必要な場合のみ)

③ソケットリフト(上顎) ￥100.000

④骨造成(骨を作る処置) ￥100.000

⑤臼歯ジルコニアセラミック冠へ変更 ￥30.000



手術の術式

手術には一回法と二回法がございます。

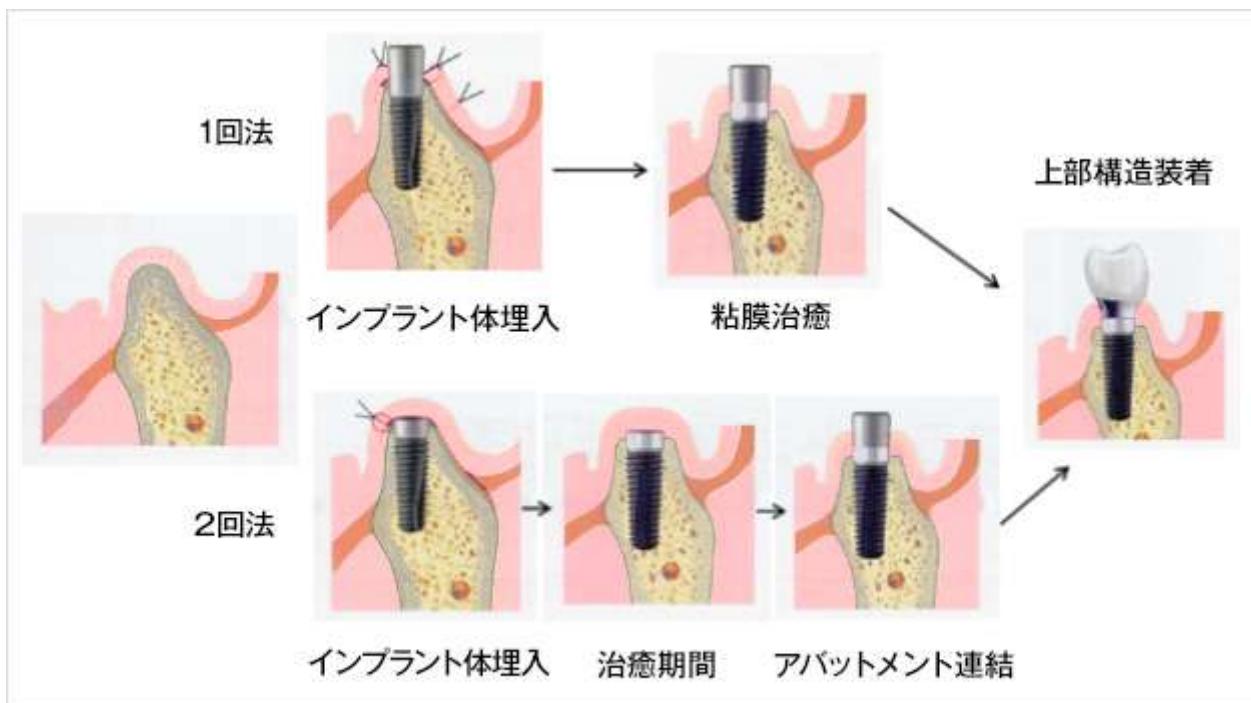


図6 1回法と2回法 (文献3より引用改変)

それぞれ利点・欠点がありますが、当院においては二回法を採用しています。

一回法は手術が一回で済むのですが、インプラントの一部が歯茎からお口の中に出ていることで汚れの付着により細菌感染を起こす可能性があります。それに対し、二回法は手術が二回必要ですが、完全にインプラントが歯茎に埋まっていることで、感染の可能性を限りなく減らすことができます。二回目の手術は大掛かりな手術ではなく、インプラントを覆っている歯茎をどかす程度ですので患者様の負担はほとんどありません。感染のリスクを考慮すると二回法が間違いなく有利であると考えております。

ただし、安全性が最も重要ですので、手術中に不測の事態が起きた場合、状況により、術式の変更や手術自体を中止する場合がございます。

術後の管理

〈日常生活の注意〉

- ・食事に注意して下さい。

インプラントの手術後は 2~3 日程度はなるべく負担をかけないような食べ物を食べるようにしてください。出来れば手術した反対側の歯で噛むようにすると安心です。

- ・激しい運動や湯船に浸かる入浴は、全身の血行を促進するので手術をしたときにできた傷口から出血する可能性があります。2~3 日はゆっくり過ごして、入浴はシャワーで簡単に済ませるようにしてください。

〈注意すべき症状〉

- ・腫れや炎症が起こることがあります。インプラント術後はインプラントを埋め込んだ場所が腫れることがあります。腫れの程度は手術内容の他にも個人差によっても異なりますが、術後少しづつ引いていきますのでご安心下さい。

- ・麻酔が切れた後は、抜歯後のような痛みを感じることがあります。一般的には数日から一週間程度持続することがありますが、痛み止めを飲んでいただくことで抑えられると思います。もし、強い痛みが持続することができれば、消毒時に医師にご相談下さい。

- ・インプラント手術後は問題発生のリスクを少なくするためにも定期的なメインテナンスが必要です。ご自身では気づかない状態でも、メインテナンスを受けることで早めの対応が可能です。治療後 5 年間完全補償(喫煙者は 1 年間)をお約束しますが、3 か月毎のメインテナンス受診が条件となります。

使用機器及び材料

使用するインプラントは世界4大メーカーの一つであるスウェーデン製のアストラテック社の製品を使用します。価格は他のメーカーよりも高額ですが、骨と結合する性能は最も高いと考えられています。

他の比較的安価なメーカー品を使用することで費用を抑えることはできますが、体に埋め込むものであるということ、長期的に安定した状況を維持しようと思えばインプラントの性能は術者の技術と同じように重要です。

私はインプラント治療に限らず全ての治療において、自分がされて嫌だと思うことは患者様にも行わない事をモットーとしております。

分析料はかかりますが、SIMPLANTを使用しての高度な分析は手術を安全に行う上で絶対に必要で省略することはできません。

全ての物には適正価格がございますので、インプラント治療のように特に高度な治療になると治療費も高額になることをご理解いただきますようお願いいたします。

